



2025年12月26日号
冬季号

vol. 72

健康的な天然木材の床

フローリング・ニュース

発行所: 一般社団法人日本フローリング工業会
編集責任者: 広報法務委員長 石本勝範

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F
TEL 03-3868-0971 FAX 03-3868-0972 <https://www.j-flooring.jp/>

臨時総会、12月理事会 福岡市で開催

令和7年12月4日(木)

12月4日に福岡市（福岡商工会議所会議室）にて臨時総会、理事会を開催しました。臨時総会は、工業会監事が不在となり、新たな監事選任のため開催したものです。既に開催日時・場所が決まっていた12月理事会当日であれば一定数の会員参加が見込めるため、理事会直前にリモート参加も可能として開催しました。

冒頭、田伏会長から、「監事が不在となっており、このままではさまざまは不具合が生じるので臨時総会を開催した。会員各位には開催に協力いただき感謝申し上げる」とあいさつがありました。

臨時総会では、新監事として株式会社 WITH フローリングの小林浩和社長、株式会社平川木材工業の平川和彦副会長が選任されました。

12月理事会は、一昨年、昨年と大阪市で開催したこともあり、東京以外での開催として福岡市での開催が7月理事会で承認されていました。

議事では、両部会の活動状況報告、合同PR報告、木質バイオマス認定制度廃止、工業会統計見直し検討、政府検討中の施策報告、令和7年度決算見込・8年度予算案、来年度総会開催内容などが審議され了承されました。



＝臨時総会・理事会の様子（左側列中央が田伏会長）＝



生産部会総会は東京で開催される

令和7年11月6日（木）

生産部会総会が昨年に引き続き木材会館（東京都江東区新木場）にて11月6日（木）に開催されました。参加者は8社11名でした（この他事務局2名）。

市川生産部会長は、「業界は、住宅着工数が減少して厳しく、加えて資材高騰、エネルギー価格上昇、賃上げを進めざるを得ない環境、設備投資が巨額であるなど経営は一進一退でないか。工業会に入会しているメリットとして同業他社との率直な意見交換の場が持てることでないだろうか。お互いライバルではあるが、そうはいってられない状況になっており、工業会を通じて皆様を後押しできる対策やPRにもつなげていきたい。」とあいさつしました。



＝あいさつする市川生産部会長＝

議事では、合同PR、シートフローへの対応、工業会統計の検討、行政施策対応、各社からの業況・地域状況報告、今後の活動などについて活発な意見交換がありました。特に、PR活動に関しては、個別各社のPRには限界があり業界全体のPRは必要、展示会の利用を検討してはどうか、SNSでの発信を検討すべきなど積極的な意見がありました。

総会終了後の懇親会では、最近の話題、古い話の話題などで、また各社が協力しあったり、各社の特色を棲み分けしなければならない状況になってきたことなどが話し合われ、生産部会総会会議以上に話題が飛び交い、交流が深めることができました。



文部科学省の手引書「体育館の床板の剥離による事故防止について」

文部科学省は、体育館のササクレ事故防止のため、手引書「体育館の床板の剥離による事故防止について」を5月にとりまとめ都道府県に通知しています。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/maintenance/mext_00003.html

この手引書には、「傷、割れ等を発見した場合は、できるだけ速やかに床板の専門業者に相談すること」、「2～3年でポリウレタン樹脂塗料の重ね塗りを行うことが重要」、「不具合の発見が難しい場合もあるため、床板の専門業者等による、調査・診断（定期点検）等を踏まえ、詳細に検討することも重要」、「ササクレ発生の防止加工がされた床板を使用することも有効」などが記載されており、体育館関係者の木質フローリングメンテナンスへの理解が深まることが期待されます。



中部支部だより

清見 勇人 中部支部（株式会社キヨミフロアギケン）

2024 年度より中部支部長を務めております、
株キヨミフロアギケンの清見です。
前任の中部フローリング株の長谷川氏から引き継いで、もう丸2年です。若輩者ではございますがフローリング業界発展のため、これからも精一杯尽力させて頂きたいと思っております。

さて 10/9 に名古屋で開催された施工流通部会総会にご参加頂いた皆様、お忙しい中ありがとうございました。中部支部が幹事支部として準備に不慣れな中、至らぬ点もあったかと思いますが、無事に終わって一安心です。ご協力頂きました皆様に感謝を申し上げます。その中の支部報告でも触れましたが、2026 年 9 月に名古屋で開催されるアジア競技大会に向けて、各競技施設の改修工事が進められています。

弊社も日頃、施設の指定管理者や役所の担当者から体育館床の件で相談を頂く中で、ササクレによる怪我の事故が取り沙汰されて以降、地域差はありますが体育館床に関心が向くようになってきたなと感じます。各体育館で使用頻度、床の状態、維持管理方法などが様々異なる中で、弊社としては可能な限り現地調査を行った上で、日頃の適切な維持管理方法について説明や提案させて頂き、少しでも永くフローリングを使っていたきたい所です。

とはいえフローリングの使用率が減ってきている昨今、フローリングは怪我するから危ない床という認識から、フローリングは安全で快適な床という認識を改めて持って頂くように、中部支部としては毎年役所や施設管理者への PR を続けている次第です。

ひとこと

袴田 昌宏 中部支部（ニチ力株式会社）

2025 年 1 月より、新たに工業会に入会させていただいたニチ力株の袴田です。

無垢フローリングをはじめ、木質の建築資材を取り扱うようになって早 20 年、かつては毎月繰り返していた海外出張も、近年では年間 1-2 回程度へ減りましたが、先週久しぶりに中国へ行ってきました。LCC 専用？の簡易なターミナル内のお店にもかかわらず、土産物売り場のレジには行列ができており、その多くは大量のお菓子を買ひ物かごに入れた女性旅行者たち。皆、嬉々として楽しそうでした。

私のオフィシャル？なお土産は、長年“白い恋人”一択ですが、韓国人スタッフ方から教えてもらってから、ドラッグストアの大袋入り（個別包装）菓子も大量に持つていくようになりました。チョコレートやクッキー、せんべいやおかし、グミやハイチュウなど多種多様です。食に関して好奇心が旺盛なエストニアでは、こちらでも女性を中心に得体のしれない日本のお菓子を積極的に手に取り、ニコニコしながらチャレンジし、口々にポジティブな感想を述べてくれ、何ともほのぼのとした一幕でした。

話は変わりますが、人手不足の昨今、当社では子育て中の女性を積極的に採用しています。地方の中小企業が少しでも希望に叶う能力と人間性を備えた方を採用したいとなれば当然の帰結ではないでしょうか。今年の 4 月以降、当社では 3 名の子育て中の女性社員を採用しましたが、事務所内がとても明るく楽しい雰囲気になりました。

日本国内に目を向ければ、女性の更なる社会進出は人手不足の解消の重要な要素の 1 つですが、世界に目を向けると、女性の活躍の場が広がることは世界平和に大いに寄与するものだと確信しております。まだまだ男性優位のフローリング業界、当社では女性が働きやすい環境を整え女性の積極採用を推進し、世界平和に微力ながらも貢献したいと考えております！

●広報法務委員

| | | | |
|-----|-------|----|-------|
| 委員長 | 石本 勝範 | 委員 | 矢野 伸和 |
| 委員 | 佐藤 仁明 | 委員 | 清見 謙造 |
| 委員 | 清見 謙造 | 委員 | 當舎 弘造 |

●会員動向 令和 7 年 12 月 1 日時点

| | |
|-------|------|
| 正 会 員 | 46 社 |
| 賛助会員 | 17 社 |
| 合 計 | 63 社 |

●告知板

3月4日（水）・・・令和8年度通常総会（東京）

編集後記

今年の漢字は「熊」でした。高騰した「米」、物価高、初の女性首相の名前から「高」も有力視されたなかでの選定だったと推測されます。当業界の主要原料を供給する森林に生息する生物が都市部も含めた地域住人の脅威となったことは複雑な思いです。明るい話題としては、科学部門のノーベル賞受賞者が 2 名も選ばれました。その業績も素晴らしく両者とも人類の発展に多大な貢献をしていただいたことは間違いありません。問題色々あれど知恵により発展する業界であり続けたいと切に思った 1 年でした。

